

2025
10

Miss Japan News

ミス日本ニュース



ミス日本

2025年11月12日発行 vol.247
一般社団法人ミス日本協会

10月の活動ピックアップニュース

10/25

棚倉城築城400年記念
大名行列姫様役にGP石川

ミス日本グランプリ・ミス着物の石川満里奈が、福島県棚倉町の**棚倉城築城400年記念大名行列に、姫様役として登場**しました。石川は輿に乗り、長い長い大名行列とともに町の中心を進んでいきます。沿道は人垣ができるほどの賑わいようで、多くの方が艶やかな振り袖姿の石川に目を奪われ、手を振りカメラを向けておりました。

10/12 シーバードデイあわじ2025



水上オートバイを用いて、海の安全と楽しさを体感するシーバードデイイベントに、ミス日本「海の日」高橋彩乃ら現役ミス日本4名が登場しました。子どもたちが水上オートバイでレスキュー出動を体験したり、海のルールを学んだり、楽しみながら学ぶ一日をお手伝いしました。

10/16

下水道管路管理技術施工展2025
管路管理の最新技術を体感

水の天使の高坂実優が、三重県で開催された施工展に登場しました。管の老朽化対策、更生技術により、陥没事故を防ぐことができます。理系魂をくすぐる工夫と技術の数々に心を踊らせておりました。

10/4-6

第48回全国育樹祭みやぎ
森林・林業・環境機械展示実演会

みどりの大使の佐塚こころが、宮城県にて開催された全国育樹祭に登場しました。開催前から現地入りして公式記録動画の案内役として風光明媚な蔵王エリアで収録に挑みます。式典当日はおもてなし広場に登場し、緑の募金の呼びかけを行いました。豊かな森林を後世に残すためには植えて終わりではいけません。**手入れをすることで森は真の意味で豊かになり、動物共生や自然災害防止などの力を発揮しています。皆で取り組みましょう。**



翌日は併催の林業機械化展に登場。全国から集まった大小さまざまな林業機械を紹介していきます。機械化やドローン導入により若者や女性が林業の現場で活躍することができるようになりました。新しい林業の姿を体験できるイベントに、佐塚も目を輝かせておりました。

10/29,30

広島水道展2025
前澤・東亜ブースに水の天使

広島で開催の水道展にて東亜グラウト工業と前澤工業のブースに水の天使高坂が登場しました。トークイベントで企業の取り組みを紹介していきます。いつも社会を支えていただき、ありがとうございます！

10/1

東京都油・断・快適キャンペーン
キックオフイベント

下水道に油を流してはいけません! 東京都の油・断・快適キャンペーンキックオフに24水の天使の安井南が登場しました。昨年に引き続いて、家庭での油の始末について実演していきます。油を下水に流してしまうと、管が詰まって大工事が必要になったりします。油は「拭き取る、吸い取る、使い切る」の3つを励行してくださいね!

10/11

AOAart「自閉症と奏でる
青いSOUND PLANET」

自閉症者の子どもたちの優れたアート感覚を引き出すワークショップに、準ミス日本の長尾巴菜子が登場しました。子どもたちと一緒に、青い地球をイメージしたモニュメントを作成していきます。強い集中力と独特の世界観で通行人の注目を集める作品が完成しました!

10/4,5

東京グリーンビズDAY
in麻布台ヒルズ

東京都の開発は、100年先を見越して自然と調和した都市づくりを進めています。麻布台ヒルズでのグリーンビズDAYトークショーに24みどり安藤きらりが登場し、森やみどりの癒やしの力を紹介します。聴衆が森や木を感じたいと思いたくなるようなお話でした。

10/12

みえ森林フェスタ2025尾鷲



みどりの大使佐塚が三重県の尾鷲で開催された森林ふれあいイベントに登場し、こども森林クイズなどステージイベントを担当しました。クイズの景品は地元産材の木のおもちゃやグッズたち。木のある暮らしに若いうちから親しみましょう。

10/6,7

こども下水道新聞取材
in鳥取

子どもたちに下水道の仕組みやかけがえのなさを感じてもらうため、こども下水道新聞の取材に水の天使高坂が登場しました。鳥取県の秋里下水処理場を、一緒に見学して行きます。処理場見学をしたり、顕微鏡で微生物を覗いたり、体験を通じて子どもたちが楽しく学ぶ取材となりました。発刊され子どもたちの手に届くのが楽しみです!

10/12,
13森林の仕事パークin有楽町駅前
「森で愛ましょう」弾き語り披露

23みどり上村さや香がJR有楽町駅前ステージで行われた森林の仕事パークに登場し、弾き語りを披露しました。都心で働く方々に、森林で働くことの魅力をお伝えするイベントです。上村は林業応援ソング「森で愛ましょう」に込めた想いをお話。そして歌唱。駅前を歩む人々の多くが足を止め、上村の歌に耳を澄ませておりました。

10/11

とやま森と木のフェスタ
2025

富山県の植樹と木育の祭典に、24みどり安藤きらりが登場しました。式典では長年にわたり林業や緑化運動に従事された方々を表彰。その後の記念植樹では県産自慢の無花粉スギ「立山森の輝き」をみなで植えました。**成育もよく、環境に配慮した新種の苗がこれからの林業を支えていきます。**

10/17

日本海事代理士会50周年
記念フォーラム

船舶の登録や手続きなどを務める「海の法律家」が海事代理士です。その協会の50周年を記念したフォーラムの司会に、23海の日稲川夏希が登場しました。現在は法律家を目指して勉強中の稲川は「私も将来は本会の一員になります!」と話し、会場から大きな歓声がありました。

10/18

未来の青い森県民植樹祭 2025in平川



みどりの大使の佐塚が、青森県平川市で開催された植樹祭に登場しました。地元の子供達とともにカラマツの苗500本を植えていきます。参加した子どもたちへのメッセージでは「伐って、使って、植えて、育てる」の森林循環が大切であること、それが豊かな森や地球環境につながっていくことをお話しました。みんなのチカラで国土を豊かにしていきましょう。

10/21

JForest全国森林組合大会 国際協同組合年記念大会 司会



みどりの大使の佐塚が、全国の森林組合があつまる記念大会の司会進行を務めました。日本の国土の7割は森林であり、森林組合が多くを維持し、支えています。森林で働く方々が美しい国土の担い手です。そのことを政府や関係機関に向けて声明として発表し、発信することが採択されました。

10/18

関西フローティング ボートショー2025



海の日の高坂が、兵庫県の西宮ヨットハーバーで開催されたボートショーに登場しました。何億円もする豪華ヨットや、釣りやレジャーを楽しむボート、海上の揺れのほとんどを吸収してしまう最新式ジャイロを装備したボートなど、楽しみ方もいろいろなボートを来場者に案内いたしました。



10/22

管路診断コンサルタント協会 総会懇親会 司会



水の天使の高坂が、管路の調査や診断をする会社団体の総会懇親会に司会として登場しました。管路の耐久性を調査・評価するコンサル業は、今年発生した埼玉県八潮の陥没事故を契機に高い注目を集め、どの会社も多忙を極めているそうです。歓談の時間には、調査や点検の方法など、高坂が興味のある理系の話題で盛り上がり、改めて機械工学が社会インフラを守っていることを実感しました。

10/20

日本ヒューム株式会社 創立100周年記念祝賀会 司会



水の天使の高坂が、日本ヒューム社の100周年記念祝賀会に司会として登場しました。国内のあらゆる地下世界で使われるヒューム管により、日本は発展してきました。老朽化問題に対しても技術開発を行い、長寿命化&耐震対策も発表するなど、社会を影で支えています。100年企業達成、おめでとうございます！

10/22

日本林業土木連合協会 全国研修会in軽井沢 記念講演



みどりの大使の佐塚が、軽井沢で行われた林業土木の企業による研修会に講演者として登場しました。佐塚は「私が感じた林業」と題して記念講演。植樹と育樹、その両面の取り組みを「次の世代につなぐ」ことで森が豊かになっていきます。森林で働く方々への尊敬を込めた講演は、この後の歓談で大変好評でした。

10/21

全国上下水道コンサルタント協会 関西支部技術講座 司会



水の天使の高坂が、上下水道企業の技術勉強会に司会として登場しました。上下水道分野のDX化は急速に進んでいます。AIによる高速診断、ドローンによる管内遠隔調査、さらには人工衛星で地盤のひび割れや動きを検知して、現場の調査に活かす技術など、新しい技術がすでに現場で用いられていることに驚かされました。

10/24

カンツールフェスタ2025大阪



24水の天使の安井南が、カンツール社のお祭りにゲスト登場しました。取引先やお得意様を招いての縁日お祭りのような賑やかイベント。安井ももちまへの明るさで場を盛り上げておりました。

10/25

神奈川県下水道ふれあい祭り
in扇町、四之宮

神奈川県の2箇所の下水道処理場の広大な敷地を利用したおまつりイベントに、準ミス長尾と24水の天使安井南が案内役として登場しました。

下水道の仕組みツアーはもちろん、設けられたステージでは地元の踊りや文化の発表会も行われ、地域の人の憩いの一日となりました。

10/27

森林・林業・木材産業活性化大会
記念トークショー

福井県にて、森林や林業の関係者が集まる記念大会に、ゲストとしてみどりの大使佐塚が登場しました。大会では、政府や県などへの提言が採択されます。佐塚は記念トークショーに出演し、これまで見聞きした経験をお話。特に緑の募金活動が震災被災者への支援「組手什」に遭われていることを紹介しました。

木材産業は日本が自給自足可能な分野です。若者に繋げましょう！

10/26

第二回ONSENガストロノミー
ウォーキングin泉南 ゲスト

大阪は泉南市が誇る美しい海沿い通りを歩きながら、地元的新鲜な食材を使った料理をいただく、心も胃袋も嬉しいイベントに、水の天使高坂と準ミス長尾がゲスト登場しました。一般のお客さんと一緒に、食べる・めぐるを満喫しました

10/29

表敬訪問 ヘラルボニー様
障がいとともに新たな文化の創造へ

準ミス日本の長尾が、障がい者のアート感覚を引き出して世界的に活躍するブランド「ヘラルボニー」社の副社長松田文登さまを訪問しました。長尾は将来教育者を目指して学習中ですが、障がいを持つ子どもたちとの対応について、考えていく必要があります。松田氏はアートを障がい者支援の手段ではなく「共に生きるための言語」と位置づけて育て上げたお話を披露。支援ではなくパートナーの関係性に、長尾は強く感銘を受けておりました。

10/26

おかやま木材フェスティバル
2025 ゲスト

みどりの大使佐塚が岡山駅前のイオンで行われた木づかいPRイベントに登場しました。生活に木を取り入れることで心も身体も豊かになります。佐塚は取材カメラの前でもそのことをPRしていきました。

10/31

第32回キネコ国際映画祭
セレモニー&レッドカーペットゲスト

こどもたちのための映画の祭典「キネコ国際映画祭」が開催されるにあたり、開会セレモニー&レッドカーペットのゲストとしてグランプリ石川が登場しました。子供向けの映画が世界各国から集められ、幼児から学生までどんな子供も満足できるような、多数のラインナップの映画祭です。OP式典当日はあいにくの雨模様でしたが、会場には多くの子供達があつまり、熱気と元気、純真な笑顔に溢れた心温まる空間となっておりました。

10/26

海洋冒険家 白石康次郎氏
世界一周 Global One号見学

ヨット単独での世界一周レースに出場し、何度も完走を果たしてきた白石康次郎氏を、歴代海の日たちが訪問しました。実際に世界一周に使われたヨットに乗船しお話を伺います。「シーマンを育て、海の文化を繋ぎたい」

その想いを伺い、海の日たちは若い人へ海の楽しさやロマンをPRする気持ちを新たにしました。

10月の活動

- 1日 東京都下水道局 油・断・快適キャンペーンキックオフ /24安井南
 4日 第48回全国育樹祭みやぎ2025
 公式記録動画撮影&レセプション出席/佐塚
 4,5日 東京グリーンビズDAYin麻布台ヒルズ
 トークショー/24安藤きらり
 5日 第48回全国育樹祭みやぎ2025 式典出席/佐塚
 5,6日 みやぎ2025森林・林業・環境機械展示実演会 出演/佐塚
 6,7日 日本水道新聞社 こども下水道新聞取材@鳥取/高坂
 11日 AOAart「自閉症と奏でる青いSOUND PLANET」出演/長尾
 とやま森と木のフェスタ2025 出演/24安藤きらり
 12日 みえ森林フェスタ2025尾鷲 ゲスト/佐塚
 シーバードデイあわじ2025 出演/高橋、石川、高坂、長尾
 12,13日 森林の仕事パーク 弾き語り披露/23上村さや香
 16日 下水道管路管理技術施工展2025三重 ゲスト/高坂
 17日 日本海事代理士会50周年記念フォーラム 司会/23稲川夏希
 18日 未来の青い森県民植樹祭2025in平川 出演/佐塚
 関西フローティングボートショー2025 ゲスト/高橋
 20日 日本ヒューム株式会社創立100周年記念祝賀会 司会/高坂
 21日 全国上下水道コンサルタント協会関西支部技術講座/高坂
 JForest全国森林組合大会 国際協同組合年記念大会/佐塚
 22日 管路診断コンサルタント協会 総会懇親会司会/高坂
 日本林業土木連合協会 全国研修会in軽井沢 司会/佐塚
 24日 カンツールフェスタ2025大阪 出演/24安井南
 25日 棚倉城築城400年記念大名行列 姫役/石川
 神奈川県 下水道ふれあいまつりin扇町 出演/長尾
 神奈川県 下水道ふれあいまつりin四之宮 出演/24安井南
 26日 第二回ONSENガストロノミーウォーキングin泉南
 ゲスト/高坂、長尾
 おかやま木材フェスティバル2025 ゲスト/佐塚
 海洋冒険家白石康次郎氏の世界一周ヨット
 Global One号乗船見学/高橋、23稲川夏希、18山田麗美
 27日 第46回森林・林業・木材産業活性化大会 司会&陳情/佐塚
 29日 表敬訪問 ヘラルボニー/長尾
 29,30日 2025広島水道展 ゲスト/高坂
 31日 第32回キネコ国際映画祭
 セレモニー&レッドカーペットゲスト/石川
31-11月3日 第2期ファイナリスト勉強会

10月のメディア

- 25日【新聞】信濃毎日新聞 佐久穂小・中学校開校10周年
 お祝い紙面企画への寄稿/佐塚
 3,10,17,24【WEB】FITNESS LOVE ミス日本便り活動掲載
 3,9,16,22【WEB】Deviewミス日本活動ニュース掲載
 10月【冊子】日本下水道協会「下水道協会誌」寄稿/高坂
 【冊子】林野庁「情報誌林野」寄稿&表紙/佐塚
 【冊子】全日本海員組合「海員」寄稿/高橋
 【冊子】水資源機構「水とともに 夏秋号」
 みなかみダム取材記事掲載/高坂
 【冊子】国土緑化推進機構「緑の少年団」インタビュー/佐塚
 【冊子】日本下水道事業団「季刊 水すまし」SDGs寄稿/高坂

11月の予定

- 31-11月3日 **ファイナリスト向け勉強会 第2期**
 1日 高知もくもくエコランド キノハナワークショップ/佐塚
 4日 森林×ACTチャレンジ2025表彰式
 サザエさん一家もりのわ話吹き出しコンテスト表彰式
 第4回森林づくり全国推進会議 司会進行/佐塚
 6日 日本下水道管路管理業協会関東支部
 管路管理技術研修会 司会/石川
 下水道整備促進全国大会&陳情活動/高坂
 7日 高知市水道通水100周年記念式典 司会/高坂
 全国木のまちサミット2025inしまんと /23上村さや香
 9日 第8回ふくしま植樹祭 出演/佐塚、17野中葵
 10日 ラジオ森ガールズのおしゃべりカフェタイム 収録/佐塚
 11日 茨城大学学生向け水道事業啓発セミナー ゲスト/高坂
 12日 令和7年度下水道管路管理セミナー 司会/石川
 カンツールフェスタ東京 出演/高坂
 14日 デフリンピック開催直前イベント/佐塚、石川、高坂
 15日 福島の森と木の親子体験オンライン教室
 出演/24安藤きらり
 15,16日 子どもの森林づくりフォーラムin奈良 司会/佐塚
 18日 国土緑化推進機構 緑の少年団映像 ナレ収録/佐塚
 19日 山梨県マウンテンバイクコース取材(仮)/佐塚
 20,23,24日 デフリンピック大会ボランティア/佐塚、高坂
 22日 山野井正郎氏藍綬褒章 受章祝賀会 司会/石川
 25日 全国育樹祭公式映像 ナレ収録/佐塚
 26日 海賊対処活動感謝の集い ゲスト/高橋
 27日 愛媛県 大瀬小学校緑の少年団結成式及び森林環境教室
 キノハナワークショップ/佐塚
 29日 茨城県グリーンフェスティバル ゲスト/佐塚
 30日 京都府農林水産フェスティバル
 キノハナワークショップ/佐塚

@@@専務理事・和田健太郎の編集後記@@@
 準ミス日本という賞

ミス日本にはグランプリを始めとする賞があります。中でも準ミス日本という賞については、周囲からよく「準グランプリではないの?」という問いが寄せられます。この答えですが、準ミス日本は、準グランプリではありません。2位という意味ではありません。これには歴史的経緯があります。

昭和の時代のミス日本は、まずいくつもの審査を経て「ミス日本賞」受賞者を複数名を選び、そこから決勝大会を開いてグランプリ1名を選ぶ方式でした。さらに「ミス日本賞」に届かなかった方の中から、優れた資質を持つ複数名の方に「準ミス日本賞」を贈っていたのです。過去の記録を紐解くと、ミス日本と準ミス日本がそれぞれ10人以上選出されている年もあります。こうしたミス日本が過去に歩んできた歴史的な流れから、準ミス日本は「ミス日本に次ぐ賞」というのが表面的な定義になります。

しかし令和の現在では、ミス日本と準ミス日本で扱いに差を設けることはしていません。準ミス日本は他の受賞者と同じで、等しく「受賞後の活動による成長」が期待される存在です。準ミス日本は過去に多数選んでいましたが、現在では経験機会を集中させるために「多くても1年に2名まで」として運用されています。今年の準ミス日本の長尾巴菜子さんは、AOAのボランティア、教育者を目指していることを活かした出演、水の天使や海の日のカバーなど、いろいろな出演機会を得ることにつながりました。

準ミス日本は将来的な活躍が期待される賞です。